

はままつ 市議会だより

第194号

令和5年2月5日

身近な市議会を目指して



もくじ *contents*

◎11月定例会のあらまし	P2
◎可決した主な議案	P3
◎常任委員会の状況	P4
◎代表質問	P5
◎一般質問	P6
◎用語解説	P9

「斜陽」 日本画
1946年頃 中村正義 作
豊橋市美術博物館蔵

～秋野不矩美術館 「中村正義展」より～

市議会の詳しい情報は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



11月
定例会

一般会計99億8200万円の補正予算を可決

台風第15号の災害復旧や物価高における経済対策に重点

11月定例会は、11月18日から12月13日までの26日間にわたって開催しました。

◎議案上程

11月18日の本会議では、4年度一般会計補正予算など、43件の市長提出議案を上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。続いて請願3件を上程し、紹介議員の趣旨説明の後、所管の各委員会に審査の付託をしました。

◎代表・一般質問に13議員

11月30日の本会議では、3会派の代表議員が代表質問を行うとともに、早期議決が必要な職員などの給与改定に関する議案など5件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

12月1日及び2日の本会議では10人の議員が一般質問を行い、市政の施策について市の考えをただしました。また、2日の本会議では4年度一般会計補正予算を追加上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。

◎市長提出議案及び意見書を可決

12月13日の本会議では、各委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から5議案に対する反対討論があり、採決した結果、市長提出議案39件は原案のとおり可決し、「行政区再編の是非は住民投票によって決めることを求める請願」など請願3件はいずれも不採択となりました。

また、人事委員会委員の選任に同意したほか、議会提出議案として意見書4件を可決しました。



本会議での行財政改革・大都市制度調査特別委員会委員長報告

可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆流域治水への財政支援を求める意見書
- ◆農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画策定の支援強化を求める意見書
- ◆教職員定数の改善を求める意見書
- ◆被災者生活再建支援法の見直しを求める意見書

11月	12月	11月
27日	27日	18日
行財政改革・大都市制度調査特別委員会	大型公共施設建設調査特別委員会	本会議(11月定例会開会・議案上程)
27日	13日	18日
建設消防委員会	本会議(採決・11月定例会閉会)	本会議(11月定例会開会・議案上程)
市民文教委員会	12日	29日
行財政改革・大都市制度調査特別委員会	議会運営委員会	議事運営委員会
	5日	市民文教委員会
	2日	環境経済委員会
	1日	厚生保健委員会
	12月	総務委員会
	1日	本会議(代表質問)
	1日	行財政改革・大都市制度調査特別委員会
	1日	本会議(一般質問)
	1日	本会議(一般質問)
	1日	各常任委員会

議会活動の経過

可決した主な議案

4年度一般会計補正予算

総額約99億8200万円

- ◆台風第15号による天竜仲町山王線嘯月橋しょうげつぼしの一部損壊や天竜区緑恵台の土砂崩落などの被害に伴う復旧 30億円
- ◆新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチン及び小児追加接種の実施や、コールセンター業務の拡充など 21億1380万円
- ◆中小企業等への^{※1}グリーントランスフォーメーション支援に向けた助成の追加 15億6000万円
- ◆出産・子育て応援交付金として4年4月以降に妊娠・出産した人に妊娠届出時・出生届出時の2回に分けて計10万円を支給 5億8860万円



台風第15号で被災した天竜仲町山王線嘯月橋しょうげつぼし

- ◆4年7月、9月豪雨及び台風第15号により発生した浸水被害を踏まえた河川・排水路における浸水対策などの実施 1億7150万円
- ◆市内宿泊施設の利用者に対して抽選で宿泊代を還元するキャンペーンの実施 1億3000万円など

天竜体育館の大規模改修

●工事請負契約の締結

天竜地域のスポーツ拠点である天竜体育館に男女更衣室や授乳室の新設を含めた大規模改修を行い、長寿命化を図ります。



天竜体育館イメージ図

120施設の指定管理者を指定

●指定管理者の指定

浜松復興記念館やフルーツパークなど、120施設の指定管理者を指定します。

自転車等駐車場の利便性向上

●自転車等駐車場条例の一部改正

5年1月1日から、自転車等駐車場に駐車できる車両区分を拡大し、125cc以下の小型自動二輪車や125cc超の自動二輪車について、一部の施設で駐車できるようになりました。



←オートバイ
駐車可能施設
の御案内



←各施設に設置されている
駐車可能
車両案内表示の例

新型コロナウイルスの感染拡大防止に御協力をお願いします



出せ大名
家康くん

出世法師
直虎ちゃん

- ・ワクチンの早期接種
- ・医療機関への適切な受診
- ・感染リスクの高い外出の控え
- ・会話や食事の際の適切なマスク着用
- ・十分な換気の実施

常任委員会の状況

12月5日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会

●統一地方選挙について

【質疑】

大河ドラマ館開館後の混雑を考慮し、市役所の期日前投票所を旧北小学校に変更することのだが、選定の理由及び交通渋滞対策は。

【答弁】

中区の中心部に近いことや、現在の投票所である市役所からの誘導などを考慮し、約1キロメートルの距離にある旧北小学校を選定した。また、交通渋滞対策として、駐車場の確保のほか、警察と協議を行い、案内看板を設置するとともに、交通整理人の配置などを実施していく。



期日前投票所となる旧北小学校体育館と駐車場予定地

厚生保健委員会

●安心して医療が受けられ、健康が守られるように国民健康保険料の改善を求める請願

【多数意見】

4年度、保険料率が改定され、被保険者の負担が軽減が図られたことから、まずはその影響を見極めるべきである。また、減免については、平成30年度に、収入が激減した世帯の所得減少の理由に、休業・けがが追加されている。さらに、多くの世帯が減免の対象となっており、これ以上減免の財源を他の被保険者に求めるべきではない。

【少数意見】

医療の受診控えにつながらないよう、余剰金を利用してさらに保険料を引き下げるべきである。また、収入が激減した世帯に対し、預貯金等保有資産合計100万円以下という厳しい減免基準を見直すべきである。

【委員会の結論】

賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

環境経済委員会

●大河ドラマ関連まちなか商店街装飾事業について

【当局説明】

大河ドラマ期間中に、中心市街地の空き店舗へドラマ関連のパネルなどを掲出し、ドラマ館や浜松駅への道案内に加え、中心市街地の雰囲気醸成を図るものである。

【質疑】

対象となる空き店舗の想定数は。

【答弁】

事前の調査により、約50店舗を想定している。

【質疑】

業務を委託するだけでなく、市内の高校生・大学生にデザインや装飾などで参加してもらうことは検討しなかったのか。

【答弁】

本事業の検討を行った家康プロジェクト街なか分科会での協議も踏まえ、5年1月の大河ドラマ館オープンに向け、速やかに事業を進める必要があることから、現時点では委託により実施していく考えである。

建設消防委員会

●浸水対策事業について

【質疑】

九領川ほか5河川の流域浸水対策を優先的に予算化した理由は。

【答弁】

4年7月及び9月の豪雨と台風第15号による被災後、どの区域でどの程度の深さの浸水が起こったかを調べる痕跡調査を実施した結果、特に家屋の床上・床下浸水が集中した地域について、早急に対応する必要があると判断し、九領川ほか5河川を優先したものである。

【質疑】

校庭貯留は、自然排水が困難な地域の存在や、貯留能力が限定的であるなどの課題があるが、今後どのように考えるか。

【答弁】

貯留施設の整備は、土木部単独での対応が困難であることから、上下水道部、都市整備部、産業部などの庁内関係部局と、新たな貯留施設の検討を開始している。

市民文教委員会

●すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

【意見】

給食費の無償化については、生活困窮家庭への補助は公費で全額支援されており、全額無償化は財政面において予算の確保が難しいと考える。また、特別な支援を必要とする子供たちへの行き届いた教育については、本市は支援の必要な児童・生徒数に対応し、毎年、必要度に応じて発達支援学級、通級指導教室、校内適応指導教室の設置拡大に努めていると認識している。さらに、小学校6年生までの放課後児童会の拡充については、現在、放課後児童会の委託化により、開設場所の確保や支援員などの人材確保を進めており、課題解決に向けて定員拡充を進めていると理解している。

【委員会の結論】

賛成なしで不採択とすべきものと決定した。

代表質問

11月30日には、会派を代表して3人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
松本 康夫

意見募集を経て家庭ごみ有料化の判断は

質問 家庭ごみ有料化について、説明会開催や市ホームページでの動画公開を行い、意見募集したが、その結果を受け、有料化の判断をどう考えているか。

また、社会環境が今の状態であれば配慮すべきと考えるがどうか。

答弁 議会で条例案を審議してもらうには、制度内容を固める必要があるため、市民の意見を踏まえ、整理していく。また、市環境審議会から、有料化を実施する場合には、社会経済情勢などを十分考慮するよう答申を受け

ており、今後の社会経済情勢をはじめ、その他の状況も踏まえ、5年9月定例会を目前に判断していく。

なお、ごみ減量施策は有料化実施にかかわらず必要であることから、引き続き様々な施策に取り組んでいく。

その他の質問

- ①台風第15号豪雨災害での判断と対応は
- ②児童養護施設存続の課題とその考え方は
- ③県宮野球場用地補償費に係る市の負担は



処理施設へごみを搬入する収集車



創造浜松
太田 利実保

中山間地域振興のための移住支援体制の強化を

質問 コロナ禍での働き方の変化に伴い地方への移住関心度が高まっているが、全国的な動向への認識と今後の移住支援体制強化の考えはどうか。

答弁 移住希望者は全国的に増加傾向で、ふるさと回帰支援センターによれば、地方移住に関する3年度の相談件数は、前年度の1.3倍となる4万9514件となり、特に女性や若者の関心が高い状況である。本市でも相談件数は1.2倍の1360件、移住者数は2.8倍の209人と大幅に伸びている。

これに対応して、浜松移住センターでも、総合的に移住支援事業を行っており、移住コーディネートによる相談体制の拡充やデジタルを活用した相談者情報の共有化を図り、移住支援体制を強化していく。

その他の質問

- ①カーボンニュートラルへの取組状況は
- ②豪雨災害の被害を回避・軽減する取組を
- ③不登校児童・生徒の学習環境の保障を



増加傾向にある移住相談



公明党
丸 英之

行かない・書かない窓口推進に向けた現状は

質問 DX推進計画が進められているが、行かない・書かない窓口の導入に向けて現状はどうか。

答弁 行かない窓口として、手続のオンライン化については、4年度末までを強化期間と位置づけ、10月に汎用電子申請システムを導入しており、子育て、介護などの手続や年間申請件数が上位の手続を中心に順次進めていく。

また、書かない窓口については、総合窓口である区役所及び協働センターなど58か所に

導入することとし、窓口業務支援システムの構築を進めている。住民票の写しなどの証明交付手続は5年2月、転入届など届出手続は6月の運用開始に向け、申請様式や業務手順の見直し、職員研修などの取組を進めていく。

その他の質問

- ①複雑化する福祉相談に重層的支援体制を
- ②災害ケースマネジメント^{※2}で被災者支援を
- ③グリーンズローモビリティ^{※2}導入の考えは



グリーンズローモビリティの一例
(豊島区池袋の街を周遊するIKEBUS(イケバス))

一般質問

12月1日、2日には、10人の議員が質問を行いました



岩田 邦泰
市民クラブ

まつぼっくり更新時にさらなる利便性向上を

質問 施設予約システム「まつぼっくり」は、支払いやキャンセルまで含めた仕組みとすべきであるがどうか。

また、学校体育館などの施設利用へも範囲を広げる考えはないか。
答弁 まつぼっくりは、平成21年1月に運用を開始し、市内約120施設の予約受付、抽選や収納管理を行っているが、現システムの利用期限が6年12月であることから、4年中に評価・検証に着手し、利便性向上に関する要望を踏まえキャッシュレス決済などを検討していく。



学校体育館の利用風景

また、市内140か所の小・中学校の体育館やグラウンドの利用は、現在、学校開放事業の中で非対面やペーパレスなどのスマート化を進めており、まつぼっくりとの連携は新システムへの移行に合わせ対応を検討していく。

その他の質問

- ①商品軽自動車に係る税の減免の進捗は
- ②庁内連携でカーボンニュートラル推進を
- ③ごみ減量には自治会活動と両輪の考えを



小黒 啓子
日本共産党浜松市議員

高校生世代医療費助成の今後の考えは

質問 高校生世代の医療費助成における県との覚書では、入院・通院への県補助は4年度

末まで終了することとなっている。3年度の県の補助金額と今後の考えはどうか。
答弁 高校生世代の医療費助成については県の補助金交付を受けて実施しており、補助率は入院に要した経費の6分の1、通院に対しては8分の1となっている。3年度の高校生世代への医療費助成額約4億940万円に対して約5億650万円の補助金が交付された。



再生が期待される牛山公園(中区下池川町)

県の補助金交付は4年度末で終了するが、高校生世代の疾病を早期に発見し、適切な受診につなげるとともに、保護者の経済的負担を軽減する観点から、本市高校生世代への医療費助成の継続を検討していく。

その他の質問

- ①豪雨に備え内水ハザードマップの作成を
- ②家庭ごみ有料化反対意見の受け止めは
- ③市民憩いの牛山公園へと再生する考えは



井田 博康
自由民主党浜松

四ツ池公園運動施設周辺道路の渋滞解消を

質問 四ツ池公園運動施設は老朽化が進み、再整備方針が協議されている。2年度に交通

アクセス、都市計画などの課題と対策を調査研究するプロジェクトチームが設置されたが、イベント開催時の上島萩丘線渋滞解消に向けた議論はどう進んでいるか。
答弁 休日夏の高校野球開催日の傾向として、試合開始前は正面入口での右折進入車を起点として、また、終了時には国道152号との交差点での横断歩行者と右折車の重なりが原



再整備方針が協議されている四ツ池公園陸上競技場

因で渋滞が発生することが分かった。現在は調査段階であり、今後さらに大きなイベント時に調査を行うとともに、渋滞の発生とその原因を分析し、引き続き、ハード、ソフトの両面から対策を検討していく。

その他の質問

- ①いじめに対する教職員への指導実態は
- ②マスク着用による人体への影響は
- ③公共施設のZEB化の今後の方向性は



鈴木 恵
浜松市政向上委員会

障がいのある子供を持つ親へ十分な支援を

質問 障害児の親は、健常児の親以上に心身や経済的負担が大きい
が、支援の必要性をどのように考えているか。

答弁 障害児を持つ家庭に対しては、子育てへの不安や負担を軽減するため、相談支援機関などで、様々な相談に応じながら、状況に合わせた支援を続けている。そうした中、障害児を育てる親に対しては、目を向けられることが少なく、孤独感を抱え、健康に不安を感じている親の視点に立った支援を検討することも必要である。

障害児の親が、希望を持ち、安心して暮らしていただくためには、子供をケアすることによる生活への影響などを踏まえ、課題やニーズを的確に把握し、支援や情報提供を行っていくことが大切であると考えている。

その他の質問

- ① 校則見直しに対する取組への考えは
- ② ポトルtoポトルリサーチ導入の考えは
- ③ 保育園など施設給食で地産地消の推進を



公立保育園の地産地消ふるさと給食



花井 和夫
自由民主党浜松

災害ボランティアセンターと連携体制強化を

質問 災害ボランティアセンターの開設や運営は社会福祉協議会の担当だが、その充実に

は行政との連携が欠かせない。そこで、台風第15号において地域防災計画上の市の役割への対応はどうだったか。

答弁 地域防災計画では、災害ボランティアに関する市の主な役割として、災害時における情報共有を図るための体制整備に努めることとされている。台風第15号では、社会福祉協議会と全地区センターとのZOOMによる連絡会が毎日開催され、

市も参加した。今後は、各区のボランティア連絡会代表者との意見交換を予定しており、平時においても市の役割となる活動拠点の確保や資機材・支援内容について情報交換を行い、連携体制強化に努めていく。

その他の質問

- ① 消防団員の確保は市全体で対策の検討を
- ② インクルーシブスポーツの推進体制は
- ③ 家康ブランドを活用した取組の考えは



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練



露木 里江子
自由民主党浜松

国道1号浜松バイパスの円滑な生活交通を

質問 国道1号浜松バイパスは、一部区間で

立体化と拡幅が事業化され、渋滞解消が期待できる一方、交差点道路ではバイパスへの進入車両が増加し、円滑な生活交通が確保できないと考える。そこで、高架化起点の交差点改良をする考えはないか。

交通の流れを予測する交通シミュレーションを実施する予定である。また、渋滞対策に対しては、4年度に国が進めている道路予備設計の結果を踏まえ、交差点改良などの必要がある場合は適切に対応していく。

その他の質問

- ① 地域との融合でインベーションの創出を
- ② 子育て支援のため安全で多様な居場所を
- ③ 小さな農業など特色ある農業施策推進を



週末の市民ふれあい農園



山崎 とし子
公明党

馬込川上中流域浸水対策の前倒しと見直しを

質問 4年9月の豪雨

では、市内で甚大な浸水被害が発生した。こうした豪雨に備え、水害対策を早急に進める必要があるが、馬込川上中流域における治水プロジェクトの浸水対策の前倒しや見直しの考えはないか。

答弁 3年3月に策定した天竜川下流水系流域治水プロジェクトでは、馬込川上中流域の浸水対策メニューにより、準用河川五反田川の川底を掘削し面積を広げる改修工事を進めているほか、流出抑制を目的とした校庭貯留



旧教育文化会館(中区利町)

の整備を予定している。今回の台風第15号の豪雨を受け、浸水被害の情報と共有するとともに、庁内においては、実施可能な短期対策メニューの洗い出しを行っており、前倒しも含め検討を進めていく。

その他の質問

- ① ネットいじめに対する情報モラル教育を
- ② 带状疱疹ワクチン接種への助成を
- ③ 旧教育文化会館跡地活用の方向性は



馬塚 彩矢香
市民サポート浜松

災害用の備蓄品に使い捨て哺乳瓶の追加を

質問 災害用備蓄品の中

には、粉ミルク・液体ミルクがあるが、それらを与えるための道具は準備されていないことから、使い捨て哺乳瓶を加える考えはないか。

答弁 災害時に必要な物資は、自助による備蓄を原則としており、市民には非常持ち出し品として各自が必要とする物資を平時から準備するようお願いし、市ではその補完として、想定避難者数の1日分の食料や水、衛生用品などを備蓄している。授乳用品の備蓄も自

助を基本に、公助として企業の流通在庫からの調達や国からのプッシュ型支援による対応を想定しているが、今後は災害時における授乳環境を確保するため、備蓄品目を使い捨て哺乳瓶を加えることについて検討していく。

その他の質問

- ① 利用者ニーズに添った一時保育体制確保を
- ② 放課後児童会の待機児童解消の取組は
- ③ 硬質プラスチックの再商品化推進を



災害時に有用な使い捨て哺乳瓶と授乳カップの例



波多野 亘
自由民主党浜松

地域力向上事業見直しで地域の力の復活を

質問 御近所イベント

など小規模な事業にも使い勝手をよくするよう、地域力向上事業を見直す考えはないか。

答弁 地域コミュニティの希薄化により、

地域への関心の薄れや住民同士で地域課題を解決する地域力の衰退が危惧されるため、顔の見える関係づくりを再び取り戻す必要がある。地域力向上事業は、地域の課題解決や地域活性化のための助成制度で、地域を盛り上げたいとき、地域活動を再開したいときに積極的な活用が期待される。

今後は、小さなコミュニティ単位でも、地域のつながりを深めるためのきっかけづくりとして気軽に使ってもらえるよう、少額助成の設定や様式・審査を簡略化するなど、運用の見直しを検討していく。

その他の質問

- ① 今後の四ツ池公園運動施設の在り方は
- ② 庁内連携で空家と所有者不明土地対策を
- ③ 交付税措置のある有利な起債の活用を



災害復旧事業債を活用した農道敷原五和線の工事



柳川 樹一郎
自由民主党浜松

将来に向けた砂丘保全と防潮堤管理の考えは

質問 中田島砂丘では、周囲になじむよう砂で覆われた防潮堤が建設されたが、現在は本体の砂利がむき出しである。さらに、砂浜が縮小し生態系への影響も危惧されるが、砂丘の保全と防潮堤の管理に對する考えはどうか。

答弁 中田島砂丘周辺は、海岸線の浸食や砂丘の縮小によりアカウミガメの産卵や海浜植物への影響が懸念されている。このため、防潮堤の管理者である県浜松土木事務所も参加する「遠州灘海浜の健全な利用と自然保全對

策連絡会議」で相互調整を図っている。

同連絡会議では、砂丘縮小防止のため市民団体と協働で堆砂垣設置事業などを実施しており、市としても関係各課と連携し、さらなる対策実施を県に働きかけていく。

その他の質問

- ① 大河ドラマを契機に浜松城公園の活用を
- ② 地域産業牽引のため次世代人材育成を
- ③ 激甚化する水災害への対策とその現状は



中田島砂丘入り口

用語解説

※1
グリーンTRANSフォーメーション
(3ページ)

2050年カーボンニュートラルの実現を目指した温室効果ガス排出削減の取組を経済の成長機会と捉え、排出削減と産業競争力の向上実現に向けた経済社会システム全体の変革のこと。

※2
グリーンスローモビリティ
(5ページ)

時速20キロメートル未満で公道を走ることができる小さな電動車を活用したサービスの総称。導入により、地域が抱える交通課題の解決や低炭素型交通の普及が期待される。

※3
ZEB(ゼブ) (6ページ)

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(略)。外皮性能の向上、自然エネルギー利用、設備システムの高効率化により大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギー導入により、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。

令和5年4月 市議会議員選挙が行われます

令和5年は、4年に1度の統一地方選挙の年です。浜松市では、4月9日に、市長、市議会議員の選挙が実施される予定です。(同時に、県議会議員選挙も実施予定です。)

政治家の寄附は禁止！

政治家が、**選挙区内の人に寄附すること**や、有権者が政治家に對して**寄附を求めること**は、法律により禁止されています。

こんな寄附はダメ

- ・入学祝、卒業祝、病気見舞い、お中元、お歳暮、盆供
- ・お祭りへの寄附
- ・地域行事などへの飲食物の差入
- ・結婚祝、香典(政治家本人が自ら出席するものを除く)
- ・あいさつ状、年賀状(答礼のための自筆のものを除く) など



政治家は選挙区内の人々に祝金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています



詳しくは浜松市ホームページ「市政>選挙>選挙の辞書(目次)>寄附の禁止」を御覧ください。

発行／浜松市議会 〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。ぜひ御覧ください。



中村正義が22歳の時に第2回日展で初入選を果たした作品である。淡彩の色調は霞や霧に包まれたかのような光と空間の中、民家の土壁を背景に、竹林の幹や葉に斜め奥から夕陽が差し込む逆光を受けて虚ろいゆくときの一瞬を捉えている。

精緻な線描は、胡粉で線を一度消して、淡彩を乗せた上から再び線描により対象をくっきり描き起こすことによって、装飾的で精妙な情感を湛えている。

そして、竹林をさまよう二羽の黒アゲハ蝶は、若い頃から闘病生活を送っていた作家自身の命の儚さや行く末の不安や心情を投影しているのだろうか。

本作品には、大量の下図が残されており、推敲に推敲を重ね仕上げていることが分かり、彼の並々ならぬ意気込みを感じさせる初期の代表作でもある。

本作に限らず、中村正義のとことん対象と向き合い自己を深く深く探る姿勢は、生涯貫いた姿であり、秋野不矩は彼が生み出す作品の価値を早い段階から認めていたという。



浜松市秋野不矩美術館 ホームページ
<https://akinofuku-museum.jp>

「中村正義展—日本画を超えて—」3月19日(日)まで開催

紙上美術館 No.180



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

今後の議会活動の予定

〔2月〕

7日 議会運営委員会

15日 本会議(2月定例会開会)

4年度関係議案上程)

行財政改革・大都市

制度調査特別委員会

各常任委員会

16日 議会運営委員会

21日 本会議(4年度関係議案

採決・5年度関係議案上
程・施政方針)

〔3月〕

3日 議会運営委員会

6日 本会議(代表質問)

7日 本会議(一般質問)

8日 各常任委員会

9日 各常任委員会

15日 議会運営委員会

17日 本会議(5年度関係議案
採決・2月定例会閉会)

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513